

T O P I C S

IAPR Fellow (IAPR:国際パターン認識連盟)
(2010.8.25受賞)

工学研究科教授 木村文隆

科学技術社会論学会
柿内賢信記念賞(学会賞)

(2010.11.27受賞)

人文学部教授 小川真里子

第19回ポリマー材料フォーラム(高分子学会)
優秀発表賞

(2010.12.3受賞)

生物資源学研究科 特任准教授 青柳 充
(修)2年 堀井慎平
教授 船岡正光

第13回アレルギー・気道上皮細胞研究会賞

(2010.12.4受賞)

医学部附属病院医員 高木健裕

【受賞演題名】
「マウス喘息モデルに対するトロンボモジュリンの効果」

社団法人有機合成化学協会
2010年度有機合成化学協会賞

(2011.2.18受賞)

工学研究科教授 清水 真

Development of Renewable Hydrogen and
Carbon Sequestration Technologies for
Sustainable Environment, Research Award from
Tati University College, Malaysia

(2011.3.1受賞)

工学研究科准教授 金子 聡

平成23年度 日本農学賞・読売農学賞

(2011.4.28受賞)

生物資源学研究科名誉教授 久能 均

わが国の農業技術の発展に対する顕著な貢献が認められました。

平成22年度 石油学会 論文賞

(2011.5.17受賞)

工学研究科教授 石原 篤 他5名

2010年度 粉体工学会
APT賞 (APT Distinguished Paper Award)

(2011.5.25受賞)

知的財産統括室助教 八神寿徳 他1名

日本肝胆膵外科学会 理事長賞

(2011.6.9受賞)

医学部附属病院医員 村田泰洋

第5回(2011年)日本物理学会 若手奨励賞

(2011.9.21受賞)

工学研究科准教授 内海裕洋

明治・大正の日中文化論



藤田昌志 著

三重大学出版会 / 2011 305ページ 2,400円(税別)
[ISBN] 978-4-903866-05-5

本書は、比較文化学の見点から明治・大正の日中文化論を考察したものです。日中比較文学論、日本論・中国論の二部構成で、魯迅、岡倉天心、内藤湖南などを扱いました。モダニティ=近代について「現代中国とモダニティ」(代田智明著、三重大出版会)同様、注視しています。

マンガ整形外科疾患55
(Go!Go!)

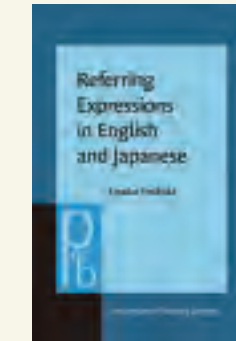


笠井裕一 著

メディカ出版 / 2011 127ページ 1,600円(税別)
[ISBN] 978-4-8404-3672-4

整形外科の主要な55疾患について、それぞれの疾患の特徴をマンガでコミカルに(ときにホロッと)描きました。整形外科のエッセンスを知りたい医師やナースはもちろん、医療関係者以外の方にも是非読んでいただきたい本です。

Referring Expressions
in English and Japanese:
Patterns of use
in dialogue processing

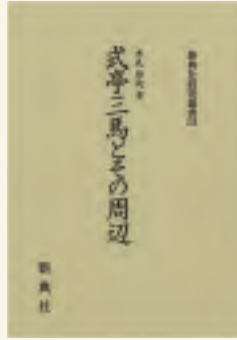


吉田悦子 著

John Benjamins (Pragmatics & Beyond New Series 208) / 2011
206ページ EUR 90.00 / USD 135.00
[ISBN] 978-90-272-5612-6

対話することは、私たちの最も身近な伝達手段です。本書では指示表現という言語現象に注目し、対話コミュニケーションの仕組みの一端を明らかにすることを目指しています。日英語の自然発話データをもとに、対話の話題が共有されていく過程を言語学的に分析・考察しました。

式亭三馬とその周辺



吉丸雄哉 著

新典社 / 2011 284ページ 8,200円(税別)
[ISBN] 978-4-78794218-0

本書は、『浮世風呂』、『浮世床』といった滑稽本の執筆で知られる、江戸の戯作者式亭三馬の文事を中心に、江戸戯作がいかなる系統のもとに成立しているのか、あるいは職業的な戯作者であることは何を意味するのか、解き明かしています。

社会教育・生涯学習

—学校と家庭、
地域をつなぐために—



宮崎冴子 著

文化書房博文社 / 2011 206ページ 2,100円(税別)
[ISBN] 978-4-8301-1207-2

子どもの学ぶ意欲や家庭・地域の教育力の低下などに対し、「社会教育・生涯学習」からの支援が求められているなかで、本書は歴史背景とともに、現代的課題から法令、行政と職員の役割、事業の企画立案と運営のヒント、実践事例までを網羅しています。

日本の東アジア観



藤田昌志 著

朋友書店 / 2011 161ページ 2,100円(税別)
[ISBN] 978-4-89281-127-2

日本は東アジアをどう見ているのでしょうか。これまで、日本で出版されてきた中国およびロシア関係書籍を見渡し、そこから日本の東アジア観を明らかにしようとする試みです。

T O P I C S

信長革命
「安土幕府」の衝撃



藤田達生 著

【発行】角川学芸出版 [発売]角川グループパブリッシング / 2010
283ページ 1,900円(税別)
[ISBN] 978-4-04-703484-6

若き日の織田信長は伝統的な室町幕府体制に理解を示していました。その彼がなぜ天下人をめざしたのでしょうか。日本史上類を見ない大変革を図った「安土幕府」の実態を、良質な史料と最新の発掘成果から追究したのが本書です。

丸山眞男
—理念への信



遠山 敦 著

講談社 / 2010 228ページ 1,400円(税別)
[ISBN] 978-4-06-278761-1

本書は、丸山眞男を近代日本が生んだ一人の思想家としてとらえ、福澤諭や古層論をはじめとする諸著作や、あるいはその師、南原繁との関係を考察することを通じて、その基本的な問題意識が、日本における超越的理念の探究にあったことを明らかにしようとしたものです。